

あなたのフィードバックは届いていますか？ — 関係性から見直す教育実践 —

吉田暁（新潟市民病院） 岡崎史子（新潟大学） 大戸敬之（鹿児島大学病院）
三好智子（京都大学） 芳野純（帝京平成大学） 船越拓（名古屋市立大学）

学習者にとって、指導者から受け取るフィードバックは臨床現場での成長を左右する重要な機会です。もちろん“伝え方”は大切です。しかし、そのフィードバックが前向きに受け入れられるかどうかは、伝え方だけでなく、指導者と学習者の関係性が大きく影響します。信頼があれば短いひと言でも学びにつながり、信頼が揺らいでいれば正しい助言でも届きません。つまり、教育の基盤にはスキル以上に「目の前の学習者との信頼関係」が必要なのです。本ワークショップでは、まず日常の指導場面をふり返り、「指導者としての自分と学習者の関係はどう育っているか？」をテーマにグループで対話します。そのうえで、Educational Alliance（EA：教育同盟）という“関係性を見立てるレンズ”を紹介し、普段のフィードバックや指導を新たな視点で見直します。後半では、信頼関係がうまく築けなかった場面を取り上げ、EAの3要素と信頼構築のメカニズムを活用し、明日から実践できる改善策をデザインします。

アソシエイトポイント：A 0.25

対 象

医療者教育に興味がある人、医療者教育に携わるすべての方。
指導医と学習者の関係性に興味を持たれた方。

定 員

30名程度